

小学校

教科【国語】

単元【あったらいいな、こんなもの】

主体的・対話的で
深い学びのポイント

クラウドサービスによるデータの共有を活用し、互いの絵を見合って質問することにより、伝えたいことを明確にした文を考えることができ、学びが深まる。

ICT活用のポイント

クラウドサービスによるデータの共有を活用することにより、短時間で友だちの絵を見合い、多様な考えを引き出すことができ、表現の仕方に対する深い理解につながる。

使用する
ICT機器

大型提示装置、タブレット等

使用するアプリ・
クラウドサービス等

Google 描画ツール、Google フォト

クラウド
の活用教材の配布・回収等資料等の共有生徒の学習状況の把握その他（ ）本時の
ねらい

友だちからの質問を手がかりに、自分が相手に伝えたい事柄を整理する。

主な学習活動
(学習場面)

ICTの活用・留意点等

評価

導入

○本時の課題を
確認する

一斉

あったらいいなと思うものを考え、絵と文
で伝えることが単元のゴールであることを
児童と共有する。絵の説明をするために、描いた絵について
質問し合い、伝えたいことをはっきりさせ
て文を書くという見通しをもつ。

展開

○あったらいい
なと思う絵を
描く

個別

Google描画ツールを使って、「あったらいい
なと思うもの」の絵を描く。

ICT機器

指針2

教師がGoogle フォトを使ってアルバムを作
成し、共有する。

クラウド

○友だちの絵に
ついて、質問
を考える

個別

児童の絵を大型提示装置に投影し、相手に
聞いてみたいことは何か、どのよ
うな事柄を伝えるとよいかなど
についての思いを引き出す。

ICT機器

Google フォトのアルバムを見ながら、相手
に詳しく聞いてみたい質問を考える。

ICT機器

指針2

○自分の考えを
整理する

一斉



全体で質問の視点を共有する。

質問の視点を基に、自分が相手に伝えたい
事柄を整理する。

ここで評価

【思】

「話すこと・聞
くこと」におい
て、相手に伝わ
るように、行動
したことや経験
したことに基づ
いて、話す事柄
の順序を考える
こと

終末

○本時の振り返
り

Jamboardで振り返りを行い、提出する。